

市民の皆様へ

2030年の稲城に向けたご提案を受け付けています！

稲城市では2030年の稲城に向けて、長期総合計画を策定します。
あなたの考える2030年の稲城の将来像について、お聞かせください。

グループ・団体別懇談会を開催します

希望するグループや団体との懇談の席を設け、市職員がお話を伺います。お申し込みください。

対象 市内在住・在勤・在学の5人以上のグループ・団体

必要事項 ①希望日時 ②開催会場
③代表者住所・氏名 ④電話番号

申し込み先 市役所5階企画政策課窓口、
電話(042-378-2111 内線532)、FAX(042-377-4781)、
メール(chou_kei5@city.inagi.lg.jp)

ホームページからのご提案はこちら

https://www.city.inagi.tokyo.jp/cgi-bin/form_enq/formmail.cgi?d=chouki



個別の返答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

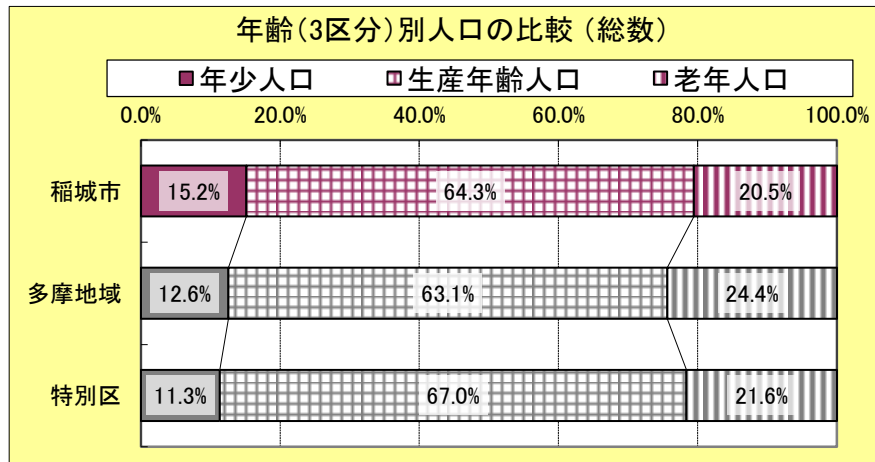
稲城市ちょっとメモ

稲城市・多摩地域・特別区の年齢(3区分)別人口の割合を比較すると、生産年齢人口の割合は特別区より低く、多摩地域よりは高い状況です。

一方、年少人口・老年人口の割合を見ると、年少人口の割合は稲城市の15.2%が最も高く、老年人口の割合は20.5%と最も低くなっています。

『多摩地域データブック 平成29年』

稲城市の年齢構成は？



これからの開催予定

第10回 平成31年3月15日(金)

時間: 19:00から

※概ね2時間程度を予定しています。

会場: 地域振興プラザ4階 大会議室

・市民会議提言書(素案)についての意見交換

市民会議提言書は、第8回までの検討を踏まえて、3つの柱と12のテーマで構成する検討を行いました。

第9回市民会議で検討した提言書修正案を、より良いものとするために、さらに検討を行う予定です。

2030年の稲城を描く

発行 稲城市

編集 企画部 企画政策課 長期総合計画担当

☎206-8601 稲城市東長沼2111

☎042-378-2111(代表) 内線532

e-mail chou_kei5@city.inagi.lg.jp

2030年の稲城を描く



No.9

市民会議 2月15日開催

第9回 市民会議を開催しました

2月15日、地域振興プラザにおいて「2030年の稲城を描く市民会議」第9回を開催しました。第8回までの討議結果をまとめた「市民会議提言書(素案)」について、2つのグループに分かれ意見交換を行い、素案内容の検討を行いました。この意見交換に基づき「市民会議提言書(素案)」の見直しを行い、第10回市民会議でさらに検討を進める予定です。

ほどよく田舎
ほどよく都会なまち

2030年の稲城を描く
市民会議提言書

2030年の稲城
~12のまちの姿が描く
3本の柱

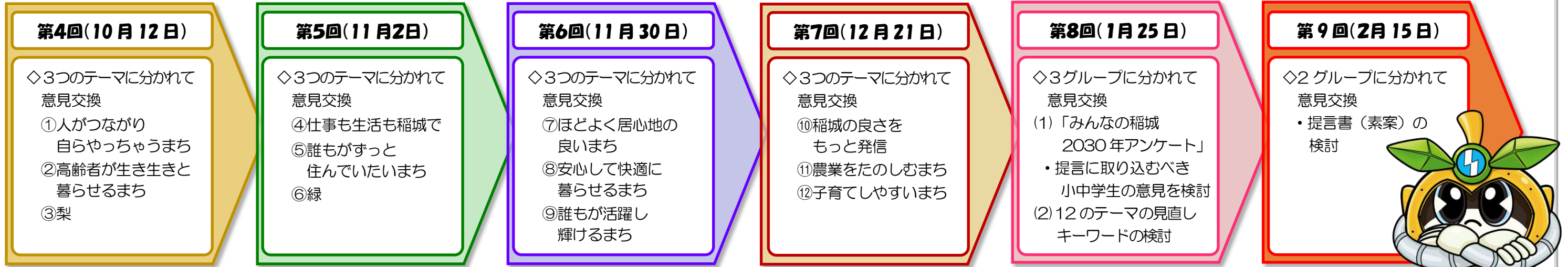
- ①自分で作る つながり合うまち
- ②高齢者が生き生きと暮らせるまち
- ③梨に親しみ誇るまち
- ④仕事も生活もできるまち
- ⑤誰もがずっと住んでいたいまち
- ⑥緑とふれ合えるまち
- ⑦ほどよく居心地の良いまち
- ⑧安心して快適に暮らせるまち
- ⑨誰もが活躍し輝けるまち
- ⑩もっと魅力を発信するまち
- ⑪農業をたのしむまち
- ⑫子育てしやすいまち

コミュニティが
タテ・ヨコ・ナナメに
つながるまち

シビックプライド

~市民の力が活躍するまち

市民会議討議の流れと、提言書づくりのプロセス



グループA 主な意見

- 「提言書」全体へのコメント
 - ・全体として、まとまっていると思うが、この会議に参加していない人が見た時に、言いたいことを言っているだけのように見えてしまうと思う。今、こういうところが上手くいっていないからこういう問題があると入れた方が、提案が生きてくると思う。
 - ・今の10年計画を見ると、三分の二以上が推進しますとか、努力しますとかいう項目で終わってしまっている。皆さんの意見の中で具体的にだしたことは、ひとつも漏らさずこれには書いて欲しい。全ての意見を入れると膨大になってしまうので、整理は、漠然とした思いと、現状を拡充する延長線上の課題と、今はないので新しくやって欲しい、の3レベルくらいに分ければ良いのではないかと。
- 「2030年の稲城の姿 ①自分でつくる つながり合うまち」について
 - ・「自分でつくる つながり合うまち」はとても良いが、一般的に市民はこういうことに慣れていない。仕掛けとか、運動とかの話も入れてはどうか。現実化するのにも予算が必要だから。
- 「2030年の稲城の姿 ②高齢者が生き生きと暮らせるまち」について
 - ・高齢者同士の助け合いがすごく出てくるが、もっと全部で助け合って、高齢者が元気に生きる方法だったと思う。
- 「2030年の稲城の姿 ③梨に親しみ誇るまち」について
 - ・人には稲城の梨を送り、自分は千葉の梨を食べているような状況は何とかしたい。
- 「2030年の稲城の姿 ④仕事も生活もできるまち」について
 - ・男性、女性それぞれができることをやり、一人ずつ主役のまちで良いのではないかと。それぞれが尊重されるまちであれば良いと思う。

- 「2030年の稲城の姿 ⑤誰もがずっと住んでいたいまち」について
 - ・「いい意味で「変わらない」というのは、ちょっとだけ表現だと思う。会話の中では良い意味ですよということだが、捉え方が難しいと思う。実際には、変わらない良さを守り続けるということ。
- 「2030年の稲城の姿 ⑥緑とふれ合えるまち」について
 - ・「稲城の「売り」は緑」であるまちとなることを期待します。」という表現はちょっと違うと思う。
- 「2030年の稲城の姿 ⑦ほどよく居心地の良いまち」について
 - ・このテーマは全てのテーマにかかってくるので、ぱっと分からない。
- 「2030年の稲城の姿 ⑧安心して快適に暮らせるまち」について
 - ・移動手段を支援するボランティア団体が生まれてこない、高齢者になっても安心して生活が守られない。
- 「2030年の稲城の姿 ⑩もっと魅力を発信するまち」について
 - ・「シビックプライド」はそこに住む人が自分はここに居て良いのだという誇り、このまちの人であるという誇り、誰かの役に立っているという意識、そういうイメージで捉えている。
 - ・誰かの役に立つために活動するというイメージで、感謝されると良かったと思える。お互いにありがとうと言えること、それがシビックプライドだと思う。
- 「2030年の稲城の姿 ⑫子育てしやすいまち」について
 - ・駒沢女子だけでなく、稲城市出身のほかの大学生も含めて、子育てする親子との交流を広げたら良いと思う。

グループB 主な意見

- 「提言書」全体へのコメント
 - ・テーマ毎の会議に参加した人には分かるのだろうが、市民には分かりにくい。
 - ・「つながる」「ボランティア」「コミュニティ」など多用されているキーワードは、その意味付けを整理すべきではないか。
- 3本の柱について
 - ・シビックプライドが位置付けられることは賛成である。
- 12のまちの姿について
 - ・「③梨に親しみ誇るまち」は「⑪農業をたのしむまち」へ統合
 - ・「④仕事も生活もできるまち」は削除の上で、「(1)女性の能力が活用されるまち」は「⑫子育てしやすいまち」へ。「(2)創業する人が発生するまち」は「⑨誰もが活躍し輝けるまち」へ統合。
- 「2030年の稲城の柱1 ほどよく田舎 ほどよく都会なまち」について
 - ・「稲城らしさに概ね満足をしています。」とまで言えるか。
- 「2030年の稲城の柱2 コミュニティがタテ・ヨコ・ナナメにつながるまち」について
 - ・タテ・ヨコ・ナナメという表現は再考したほうがよいのではないかと。
- 「2030年の稲城の姿 ①自分でつくる つながり合うまち」について
 - ・自分という表現は、もともと「自らやっちゃうまち」から出た言葉で、市民が行政に頼るのではなく、皆で取り組むという意味。
- 「2030年の稲城の姿 ④仕事も生活もできるまち」について
 - ・「女性の能力が活用されるまち」で、女性への特化は不要。シルバー等も含めて、「誰もが」ではないか。

- 「2030年の稲城の姿 ⑤誰もがずっと住んでいたいまち」について
 - ・「巣立った子どもたちが戻ってくるようなまちを期待します。」は違和感がある。巣立っても良い。稲城に住んでいることが羨ましがられたり、誇りを持てるまち、稲城が好きという意味である。
- 「2030年の稲城の姿⑥緑とふれ合えるまち」について
 - ・「緑とふれ合えるまち」は「緑があふれふれ合える」で良いのでは。
- 「2030年の稲城の姿⑦ほどよく居心地の良いまち」について
 - ・「ほどよいまち」だけでは意味がよく分からない。規模として適当なまちという意味だと思う。
- 「2030年の稲城の姿⑧安心して快適に暮らせるまち」について
 - ・どこかにバリアフリー等の表現が必要。
- 「2030年の稲城の姿⑨誰もが活躍し輝けるまち」について
 - ・生活に希望が持て、張り合いがあることが大切で、経験、知識を持つシルバーの活躍の場が必要。
- 「2030年の稲城の姿⑩もっと魅力を発信するまち」について
 - ・「魅力を発信」とあるが、「観光」「観光のまちづくり」がないのはどうか。
- 「2030年の稲城の姿⑪農業をたのしむまち」について
 - ・「農業をたのしむまち」では市民サイドだけなので、「農業を応援して、たのしむまち」といった農家支援の表現が必要。
 - ・「③梨に親しみ誇るまち」を統合する。
- 「2030年の稲城の姿⑫子育てしやすいまち」について
 - ・「子育てしやすいまち」は親目線で、子ども目線が不足している。小学校、幼稚園等も検討すべき。
 - ・「④仕事も生活もできるまち」の「(1)女性の能力が活用されるまち」「(3)交流し、入れ替わり、続いていくまち」を統合する。

市民会議提言書のまとめの討議(3月15日)

